

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部
TEL : 03-3642-0119
FAX : 03-3641-4422

「消防団合同点検行う」

消防団員と深川高校の生徒
が共に活動する！

深高生は「総合的な学習の時間」で防災を学んでいます。大規模災害時に、自分にできる事があることが分かった!!



**大災害への防災意識
更に高まる！**

深川・城東消防団、消防署、災害
時支援ボランティア、江東区災害
協力隊そして高校生が参加し、
地域一体となり実施。

〔江東区内消防団合同点検
十月二十八日(日) 木場公園〕

朝から雨模様の中、江東区内合同
点検が都立木場公園で開催され、部隊
検閲や震災消防訓練など、いつものよ
うに土気盛んな訓練が行われました。

その中でも今回は、都立深川高校の
生徒さんの若さあふれる訓練が目立ち
ました。

消防団や災害時支援ボランティアと連
携して、倒壊家屋からの人命救助や搬
送、応急手当また消火活動まで幅広い
活動を見せてくれました。

深川高校ではボランティア活動が盛
んで、防災活動のみならず、介護や地
域奉仕活動も多く行っているとのこと
で、担当の上岡先生に何うと生徒自ら
奉仕活動を探ってきて取り組むことも
あるとのことでした。

昨年の夏には、今後首都を襲うと予
想される震災に備え、高校の (2面へ)

(1面より) 校舎に2日間の泊り込みの、災害発生を想定した訓練をおこないました。訓練では、「まず自分の安全を確保し、身近な人を助け、さらに避難所の運営など、地域に貢献出来るような人間になる」を目標に行われました。消防団員として、このような若い人達の気持ちの盛り上がり大いに希望を持ったところです。われわれ消防団も地域の防災リーダーとして最大限の協力をしていきたいと思えます。

生徒の感想

① 具体的に、どんな活動(役割分担)をしたか?

② 実際に、「合同点検」に参加した感想

③ 消防団活動について(意義、理解、参加の意思、ねぎらいの言葉、など)

1年3組 秋山 千佳子

① 車椅子で人が人をはこぶ。

② 事前に練習したりして協力して出来ました。当日も雨の中、元気に怪我無くできてよかったです。

③ 今回やってみて、地域の一員として自分にも出来る事が多くあるんだと思った。

1年3組 阿部 真実

① 消火活動

② 地域の消火活動に参加することは大切だなと思った。

③ 私達の安全の生活のために重要だと思った。

1年7組 藤田 里穂

① 担架、けが人の手当てなど

② 実際にけが人を助けてみて、自分などのように動けばいいのか分からず、困ったこともあったけど、周りの人の助けがあつてとてもいい経験になりました。

③ 消防の人たちや消防団の協力で人が助けられていることを思うととても感動しました。

自分たちにも出来る事を見つけて、今後に生かしていきたいです。



訓練に参加した深川高校の皆さん

1年8組 岡田 絵利亜

① 私は担架の班で実際に合同点検でも崩れた家の中から人を救助しました。班の中では包帯を巻くという係も担当しました。

② 消防団の方たちのパフォーマンスはとても迫力があつて最初はとても圧倒されてしまいました。

その後に私が出るなんて思っていました。消防団の方々に教えてもらったことを精一杯出せるように頑張りました。

今回教えてもらったものは災害時に必要な技術だけではなく近所との輪の大切さなど普段でも行動を起こせるようなことも知ることが出来ました。なのでこれからは身の周りのことにも気を配り、緊急時には手助けになれるようになりたいです。

③ これからは私も自分自身の周りでできる限りのことをしていきたい、少しでも役に立てるようになりたいです。

今回の活動に参加して消防団の方たちの仕事をより深く知ることが出来ました。消防団の方たちの仕事には本当に感謝しています。これからも頑張ってください。

1年7組 星野 歩莉

① 担架を運んだ。

② 事前に消防署の人たちと一緒に練習したりしてすぐくためになることを



消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)
<http://www.mutoh-u.co.jp/>
 支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
 板木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<http://www.teisoh.co.jp/> E-mail: info@teisoh.co.jp
 PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ
 〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1



消防団員による一斉放水

沢山学ぶことができました。参加することができてよかったです。ありがとうございました。

③消防団の人たちはみんなすごく親切で、またすごく大勢の人がかかわっているんだなと思いました。実際に消防団の活動を見れてよかったです。

1年7組 酒井 里奈

①放水 担架 けが人の手当てなど
②災害時のけがの手当ては初めてやったけどとても難しかったです。自分たちでうまく車いすに乗せられなかったけど、とてもいい経験になりました。
③私は合同点検のときに見ていても驚きました。すごく大勢の人達が救助にかかわっていてすごいなと思いました。

1年6組 斎藤 健吾
①消火活動
②火を消す、人を助けることの大切さがわかった。
③分担して人を助けたり火を消していることがわかった。

1年8組 森田 光

①僕は数多くある救護消防活動の中でも合同点検の最後を締めくくる放水活動を行いました。
②先日の合同点検を通して安全で平和な生活の上にあぐらを書いていた自分たちは、安全を保持し続けている皆様に守られていることを改めて実感しました。合同点検で培った能力や技術を、もしそれらの能力や技術が必要になったときには全力で活用していきたいと思っております。
③消防団の皆様には強い憧れを抱きました。

1年1組 田山 祐助

①けが人の搬送、応急手当。
②消防団の人達は動きがムダ無くすばやくてすごかったです。
③実際の火災現場でもすばやく消火活動しそうだっただ。

1年3組 飯村 拓海

①担架でけが人を運ぶ役割
②とてもためになりました

③いつもいつも地域に貢献下さりありがとうございます。

特集 団員を増やすには!
団員に聞く「入団のきっかけや募集方法は？」

第九分団 団員 下赤 利夫
平成二十二年四月入団

平成22年3月に転勤で、名古屋から東京(潮見)へ家族4人で転居しました。東京には、会社の従業員以外には友人・知人もいなく地元の知り合いを作りたいと思っておりました。当時は子ども達2人、4月に小学校入学・保育園と、病院や買い物等、生活に密着する事柄の情報が全く無かったので家族4人不安でした。そんな時、

深川警察署へ免許証の住所書換え手続きの帰り道、深川消防署の消防団募集の旗とポスターを目にしました。



富岡八幡宮大祭での下赤団員

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

ホテル イースト21 東京
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

「大震災はいつ起こるか 分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

名古屋では、母親が地元の消防団で活動している事もあって、東京に越して来て3日目でしたが、迷うことなく深川消防署の団係に伺い、当時の第九分団長だった「津川さん」の連絡先を覚えて頂き、その日の内に入団手続きをしました。入団前でしたが、操法訓練の見学や体力練成「深川七福神スタンプリー」に家族4人で参加し女房・子ども達を含めて消防団に溶け込めました。

当時の津川分団長から細目に活動連絡を頂けた事が、消防団の活動参加を続けられたきっかけだと思います。又、深川の水掛祭は地元名古屋の祭では想像もできない衝撃でした。そんな放水訓練参加は、大変であつてもとても楽しくて他の祭では無い大きな魅力だと思います。これからも、子ども達は深川消防少年団、私は深川消防団 第九分団を通して少しでも地域に貢献しながら、多くの方々との交流を深めて行きたいと思えます。

第六分団 団員 笠原 一敏
平成二十年四月入団

入団理由は、町会の総代からのスカウト 続けている理由は、先輩方の人柄が素晴らしい。部活として考えているので気持ち楽です(もちろん消防団員としての意識を持ちつつ) 操法大会

に出場し(後に東京都大会出場)分団の輪の中に入れ、絆が深まった。

月一回の定例会後の楽しい酒の会 六分団を一言で云うと「笑顔!!」

第五分団 団員 森本 忠章
平成十八年十二月入団

町会で一緒に活動させて頂いておりました、元団長の唐鎌五郎さんにお誘いを受けたのがきっかけとなります。

当時、青年部と一緒に活動しておりました唐鎌司郎さん(元団長ご子息)と一緒に入団いたしました。

元々地域の町会などで地域の活動には参加しており、地元の防火・防災活動には関心がありましたのでタイムミングよく入団させて頂きました、入団させて頂いてからは、救命救急の研修やポンプ車での実際に水を出しての訓練など会社では体験出来ない様な、役に立つ勉強をさせて頂いておられます。今後も訓練・勉強させて頂いたことを役立て、地域の防火・防災に取り組んでいきたいと思っております。

AEDの祭り半纏登場!

深川八幡宮の例大祭、その中で一風変わった半纏が見受けられました。来ている人に話を伺うと、例年、祭に

なると心臓の疾患を訴える病人が出る事が多いので、AEDをもって祭に参加した。それでAEDがあることを目立たせなければいけないとの思いから半纏を特注したそうです。



赤い半纏団員だあ〜れ? わかった人は編集部まで

これだけ大きな祭ですのでさまざまな備えが必要で、又そのためにさまざまアイデアが出てくるものだと思います。

増茂 洋之進氏 「瑞寶双光章受章を祝う会」

九月二十八日(金) 清澄庭園の大正記念館に於いて祝う会が行われました。

増茂元団長のお人柄を示すものでしようか、全国各地の消防団長経験者の方も多く出席され、遠くは新潟の十日町市の元消防団長さんも駆けつけられました。その謝辞のなかに「消防団をやっているよかった!」など消防

に対する熱い情熱と、この深川という地域に対する深い愛情を語られました。その細やかなお気遣いはすばらしく、新人団員にも優しい声をかけたり、あの達筆なお手紙をいただいで励まされたりした方も少なくないと思います。心よりお祝いを申し上げます。



増茂ご夫妻を囲んでの乾杯

表彰者の紹介 合同点検以降の

- ◆ 東京都消防褒章(十月三十日)
 - 第六分団 副分団長 平山 敏博
 - 第七分団 副分団長 勝山 瑛登志
- ◆ 深川消防署長表彰(十二月二十九日)
 - (建物火災においての活動功労)
 - 十二月九日(日) 牡丹二丁目
 - 第六分団 班長 斉藤 定信
 - 第六分団 班長 竜崎 誠
 - 第六分団 団員 笠原 一敏
 - 第六分団 団員 矢田 健